



[農業経営部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

### 3. 「岡山県版広域連携マニュアル&事例集」の作成

#### [要約]

中山間地域の水田作経営を中心に担い手の経営効率化や後継者育成の受け皿として期待される広域連携の取組を始める際に、連携組織の設立や運営・事業の拡大等の参考資料として活用できる「岡山県版広域連携マニュアル&事例集」を作成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 作物・経営研究室

[連絡先] 電話 086-955-0275

[分類] 技術

---

#### [背景・ねらい]

中山間地域を活性化し持続可能な地域とするためには、担い手となる個別経営体や集落営農組織の収益性向上や次世代確保が重要である。しかし、中山間の集落では、用排水・畦畔管理、鳥獣害対策の負担が大きいためスケールメリットが発揮しにくく、また、周年雇用体制の整備や人件費の負担も大きいため雇用が進まない状況にある。そこで、経営効率化や雇用の受け皿として期待される経営体の広域連携の取り組みについて、設立・運営方法及び先進地事例を整理したマニュアルを作成する。

#### [成果の内容・特徴]

1. 「岡山県版広域連携マニュアル&事例集」は、①広域連携組織の構築モデル、②連携事業の運営モデル、③事例集で構成される。
2. ①広域連携組織の構築モデルでは、合意形成過程や組織の設立・発展過程について整理している。
3. ②連携事業の運営モデルでは、ヒト・モノ・カネの流れや仕事の流れ等、模式図を用いて整理するとともに、先進事例での運営上の工夫を整理している。
4. ③事例集では、県内外の事例について組織の概要や運営モデル、また、運営のポイント等を整理している。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 本マニュアルは、担い手の経営力強化・地域の維持発展に向けて、これから広域連携の取り組みを始める地域においては、連携構築の参考資料として、既に広域連携に取り組んでいる地域においては、事業展開や取組の拡大を進める参考資料として活用できる。また、関係機関においては広域連携の指導・助言を行う上での参考資料として活用できる。
2. 先進事例のデータは調査時点（2017～2019年度）のものである。
3. 本マニュアルは、各農業普及指導センターに配付する。



## [具体的データ]

